

校長室だより

緑鷹

第 25 号

令和7年10月2日(木)

[発行者] 三苫 淳一

スローガン: ○凡事徹底で生活の基礎固め~基本的生活習慣のレベルアップ

○全力燃焼~過程(プロセス)重視

9月25日(木) 総務省大分行政監視行政相談センターの職員と日田市担当の行政相談委員が来校し、行政相談出前教室を全校生徒対象に行いました。行政相談制度や相談事例の説明があった後、生徒が行政相談委員の立場になり、<事例1>「電車とバスの時刻表から感じる不便さと改善点」<事例2>「写真に写っている障がい者用トイレの不便さと改善点」をグループに分かれ話し合い、発表しました。



9年生 福井 希彩さんの感想

「行政」「行政相談」と聞いて、授業で習ったことはあったけど、私たちの暮らしとは遠く難しいイメージでした。今日の出前教室を通して、より「行政」について知り、生活になくてはならないものだと実感しました。「行政相談」は、大人がするような固いイメージだったけど、たくさんの方が暮らしやすくするためにの相談だと知って、私たちにもできることなのだと分かりました。



8年生 河津 杏実さんの感想

行政相談員は困りごとをなくし、町をより良いものにするための素敵な活動をしていることが分かりました。私も何か困ったことがあつたら相談したいし、自分では困っていないなくても他の人が困っているかもしれないことなどにも目を向けています。行政相談のことを知らない人にも教えたいです。



新役員を代表して会長の所信表明

生徒会長として取り組みたいことは二つあります。一つ目は誰もが意見を発表できる環境づくりです。意見を発表することは、自分の考えを深め、学校をより良くするために欠かせないことだと思います。そのため、生徒集会にグループディスカッションの時間を設け、気軽に意見を共有できる場を作っていくたいと考えています。二つ目はみんなが楽しい学校づくりです。月に一度アンケートを実施し、みんなの声を執行部に届けてもらいたいと思います。いただいた意見は執行部でしっかり話し合い、できる限り学校生活に反映させます。これによって意見を発表する機会が増え、学校がより楽しい場になっていくと信じています。もちろん簡単なことではありませんが、理想に少しでも近づけるように全力を尽くします。どうぞよろしくお願いします。

演説会で使った原稿を AI (ChatGPT) に入力し、所信表明用の文章に作り変えてみました。

2025後期-2026前期 緑鷹会役員決定

9月26日(金) 学年から選出された穴井楓龍くん、矢羽田快くん、岡崎愛空さん、3名の選挙管理委員の運営によって緑鷹会役員選挙が行われました。役員に立候補した生徒とその応援者による演説、投票と開票が行われ、新役員が決定しました。ここ数年は各役職に1名の候補者しかおらず、信任投票で役員が決定していました。(私が赴任する前の少なくとも3年間も信任投票だったと聞いています) 今年度は、複数の役職に複数の候補者が立ち、選ぶための投票が行われました。学校生活や生徒会活動の主体者として、ビジョンを持って立候補してくれたことは大変喜ばしいことであり、選ぶために真剣に演説を聞いていた生徒の姿も素晴らしいものでした。

<新役員>

会長 梅村 空弥くん

副会長 江田 楓華さん 木村 武輝くん

書記 川述 煌紗さん 仁田野 巧くん

議長 木下 愛美さん 川述 慶人くん

後日、専門部長が選任されます。引継移行期間を経たのち、12月から新体制へと完全移行します。